

2022年度 八戸学院大学短期大学部

幼児保育学科・介護福祉学科 一般選抜（1期）

国 語

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いたときは、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

しつけといえ、すぐ、生活のしつけのことが言われますが、勉強のしつけ、学問のしつけも忘れられてはなりません。

あなたの鉛筆のけずり方を、見てごらん下さい。むやみにしんを長く出し、その先をきりのようにとがらせてはいませんか。反対に、ちよつぱりしんが顔を出せば、それで平気でさがさと、大きな字をなぐり書きにはいりませんか。

「きりのしん」の人は、小さな事をいつも気にかける型、「ちよつぱりしん」の人は、ずぼら型といわれますが、本当はそうではなくて、2そんな鉛筆を使っているから、そういう型の子供になっていくのです。

ペンや万年筆は、使った後、ぬぐっておくものだと知っていることですか。3賢人といわれた昔の中国の学者は、顔を洗わない日はあつても、硯^{すずり}を洗わない日はなかつたといわれます。万年筆は、ぬるま湯で時々④ソウジすることです。

ノートの書き方、本の扱い方、学用品の使い方、上手下手、手入れのよしあしというようなことは、つまらないことのようにですが、これがその人の勉強に対する心構えを養う大変大切なことなのです。

私が大学にはいった頃、中村清二という大変偉い先生がいらつしやいました。私たちが、この大先生から一番はじめに教わつたことは、何と、実験室のソウジの仕方と、ピーカーの洗い方でした。

その頃は、くだらないことに思っていました、考えてみますと、ピーカー一つ満足に洗えなくては、立派な研究も出来るはずがありません。レンズを持つ時の注意、器械の持ち運び方、器械の触つてよいところと触つてならないところ。4このような細かいしつけが、どれ程それからの私の研究を助けてくれたかしのれいのです。

ピーカーの洗い方や、器械の触り方というようなことは、科学の研究をする人には必要だが、ふつうの人には、必要でないと考える人があつるかもしれません。けれども、こういうしつけをする本当のねらいは、学問に対する身だしなみを、身につけさせるところにあるのです。学問は、私たちが⑤ツツましい心で、大いに尊ぶべきものです。なぜならば人間の値うちは、学問を持つているところにあるからです。私たちは、鉛筆の正しいけずり方や、本の正しい読み方も出来ないで、むつかしいことをりこつぶるような人には、なりたくないものです。

中谷宇吉郎『鉛筆のしん』

(注1) もととる…反する。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 空欄 A と B に入る語を次から選び、記号で答えなさい。

ア まるで イ だから ウ ところが エ また オ なぜなら

問三 傍線部1「新しい考え方に合う」とあるが、筆者がそのように考えるのはなぜか。 A ・ B にあてはまる語句をそれぞれ十六字で文章中から抜き出しなさい。

A ということが新しい考え方の一つであり、 B ように、しつげをしつかり行うことが必要だと考えるから。

問四 傍線部2「そんな鉛筆」とは、どのような鉛筆のことですか。二十字以内で答えなさい。

問五 傍線部3とあるが、この「賢人と言われた昔の中国の学者」の例は、どのようなことを示すために挙げられていると考えられるか。 A にあてはまる語句を八字で、 B にあてはまる語句を九字で文章中から抜き出しなさい。

本や学用品などの A は、 B を養うのに大変大切だということを示すため。

問六 傍線部4とあるが、それはなぜか。 にあてはまる語句を十一字で文章中から抜き出しなさい。

を身につけることができたから。

【Ⅱ】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、一部表記を改めているところがある。

先ず大切なことは読書の習慣を作ることである。他の場合と同じように、ここでも習慣が必要である。ひとは、単に①ギムからのみ、あるいは単に興味からのみ、読書しうるものではない、習慣が実に多くのことをなすのである。そして他のことについてと同じように、読書の習慣も早くから養わねばならぬ。学生の時代に読書の習慣を作らなかつた者はおそらく生涯読書の面白さを理解しないで終るであろう。

読書の習慣を養うには閑暇を見出すことに努めなければならぬ。

A 人生において閑暇は見出そうとさえすればどこにでもあるものだ。朝

出かける前の半時間、夜眠る前の一時間、読書のための時間を作ろうと思えばいつでもできる。現代の生活はたしかに忙しくなっている。終日妨げられないで読書することのできた昔の人は羨望に値するであろう。しかし忙しき人も自分の好きなことのためには閑暇を作ることができる。読書の時間が無いというのは読書しないための②コウジツに過ぎない。

B 学生は世の中へ出た者に比してはるかに多くの閑暇をもっているはずだ。そのうえ読書は他の娯楽のように相手を要しないのである。ひとはひとり読書の楽しみを味わうことができる。いな、

東西古今のあらゆるすぐれた人に接することができるというのは読書における大きなよるこびでなければならぬ。読書の時間を作るために、無駄に忙しくなっている生活を整理することができたならば、人生はそれだけ豊富になるであろう。読書は心に落ち着きを与える。そのことだけから考えても、落ち着きを失っている現代の生活にとつて読書の有する意義は大きいであろう。

読書を欲する者は閑暇を見出すことに賢明でなければならぬと共に、規則的に読書するということを忘れてはならない。毎日、③レイガイなしに、一定の時間に、たとい三十分にしても、読書する習慣を養うことが大切である。かようにして二十年間も④ケイゾクすることができれば、そのうちにひとは立派な学者になつてゐるであろう。読書の習慣は読書のための閑暇を作り出す。読書の時間がないという者は読書の習慣を有しないことを示している。読書の習慣を得た者は①読書のうちに全く特別の楽しみを見出すであろうし、その楽しみが彼を読書から離さないであろう。

他の場合においてと同様、読書にも勇気が必要である。ひとは先ず始めなければならぬ。我々はつねに読書に⑤コウツゴウな状態にあるのではない。読書にコウツゴウな状態ができてから読書しようと思えるならば、遂に読書しないで終るであろう。ひとたび読書し始めるならば、落ち着かない心も落ち着き、憂いも忘れられ、不運も心にかかることなく、すべて読書にコウツゴウな状態が生ずるであろう。いやいやながら始めて、

やがて面白くなってやめられなくなる場合が多い。先ず読書することから読書に適した気分が出てくる。ひとたび読書の習慣を得れば、2習慣があらゆる情念を鎮めてくれる。落着いた大学生といわれる者はたいてい読書の習慣を有するものである。

三木清 『如何に読書すべきか』

注111かんか。するべきことのない状態。ひま。

問一 傍線部①く⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 第一段落の要旨を二十五字程度でまとめなさい。

問三 空欄 A・B に入る語を次から選び、記号で答えなさい。

ア ところで イ そして ウ しかし エ なぜなら オ まして

問四 傍線部1「読書のうちに全く特別の楽しみを見出す」とあるが、その「楽しみ」として挙げられていることを、これよりひとつ前の段落から二十四字で抜き出さない。

問五 傍線部2「習慣があらゆる情念を鎮めてくれる」とあるが、このことを具体的に述べているところを、「……ことがなくなること。」と続くように三十字程度で抜き出さない。(句読点も一字とする。)

問六 「読書」についてのあなたの考えを百字以内で述べなさい。この文章の内容を参考にしたり、この文章の言葉を引用したりしながら書いてもかまわない。

【Ⅲ】 次の文の傍線部が慣用句となるように、 にあてはまる言葉として最も適当なものをあとのア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 旅行の計画が に浮く。

ア 水 イ 海 ウ 空 エ 宙

② 彼女の献身的な姿には が下がる。

ア 頭 イ 肩 ウ 腕 エ 腰

③ 急に引つ越しをするという、藪やぶから の話に驚いてしまった。

ア 声 イ 蛇 ウ 竹 エ 棒

【Ⅳ】 次の四字熟語の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。(解答欄には二字だけ記入)

① ビシ麗句を並べただけでは、人の心には響かない。

② どれもダイドウ小異であり、よい解決策は出なかった。

③ 両チームとも互いに譲らず、イツシン一退の攻防が続いた。

〈問題終了〉